

第2章

【教育・文化分野】

豊かな学びと心を育み文化の薫るまちづくり

2-1 学校教育

2-2 生涯学習

2-3 文化・芸術

2-4 スポーツ・レクリエーション

2-1

学校教育

<施策の内容>

- ①社会を生き抜く力の育成
- ②未来への飛躍を実現する人材の育成
- ③学びのセーフティネットの充実
- ④地域とともにある学校づくり

施策が目標とするまちの姿

子どもたちに、夢と生き抜く力を育む教育が行われ、次代を担う人材が育っています。

協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
住んでいる地域の学校運営に積極的に協力します。	学校と連携して、子どもが学び、子どもの可能性を伸ばす環境づくりに努めます。

現状と課題

- 2015年度に策定した教育大綱[※]に基づき、教育委員会基本方針を定めていることから、この方針のもと、着実に事業を実施する必要があります。
- 自然体験、福祉体験、職業体験など多様な学習、社会貢献や道徳心を養う活動などを実施しているものの、今後も社会が激しく変化する中で、児童・生徒が将来自立し、他者と協力して課題の解決や目的を達成することができるようになるために、能動的・主体的な力である「社会を生き抜く力」を誰もが身につけられるような教育指導の充実が必要です。
- 社会のグローバル化[※]の進展に伴い、イノベーション[※]を実現し、各分野を牽引できるような人材を育成するために、英語を始めとした教育の更なる充実が必要です。
- 児童・生徒、保護者が抱えるさまざまな課題に対しては、スクールカウンセラー[※]やスクールソーシャルワーカー[※]の配置により、全ての児童・生徒が安心して教育機会が得られるように「学びのセーフティネット[※]」を更に充実することが求められています。
- 全小中学校でコミュニティスクール[※]を実施し、地域とともにある学校づくりを進めています。活動の継続や参画する人々の当事者意識の差などの課題があることから、解決に向けて学校と地域が協働[※]で取り組む体制を構築する必要があります。

主要施策

①社会を生き抜く力の育成

- 学習指導要領※の内容を確実に習得できるように、学習指導内容を工夫し、教育の質を高めます。
- 多様な学習機会を充実し、豊かな心、健やかな体を育成します。
- 障害のある児童・生徒の自立と社会参加に向けた支援の充実を図ります。
- 学習の質を保証するために、継続的な検証改善サイクル※を確立して、学習成果の評価・活用を推進します。
- 将来の生き方や働き方を考える機会をつくるために、キャリア教育※や社会につながる活動を推進します。
- 教員の資質能力を高めるために、教員の研修の充実を図ります。

<主な取組>

- 各種体験学習 ○特別支援学級 ○特別支援員の配置 ○アフタースクール教室 ○職場体験
- ボランティア活動 ○独自講師の確保 ○ゲートキーパーの養成 ○教員研修

②未来への飛躍を実現する人材の育成

- 優れた才能や個性を伸ばすために、多様で高度な学習機会を提供します。
- 英語教育を充実し、英語によるコミュニケーション力の向上を図ります。
- 国際理解を深める学習機会を充実し、広い視野を持った人材を育成します。

<主な取組>

- ALTの派遣

③学びのセーフティネットの充実

- 全ての児童・生徒が同じ教育を受けられるように、教育費負担の軽減に向けた経済的支援を充実します。
- 不登校や悩みを抱えているなど、学習や社会生活に困難を有する児童・生徒への教育支援の充実を図ります。
- 学校施設の地震対策を強化し、災害時の児童・生徒の安全を確保します。
- 学校の防犯対策を強化します。

<主な取組>

- 就学支援 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置 ○家庭訪問相談員による訪問相談
- いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題専門委員会 ○不登校対策協議会 ○校舎の補修 ○防犯カメラの設置

④地域とともにある学校づくり

- 子どもたちをともに見守り、ともに育む地域社会をつくり「教育」を「共育※」へと発展させます。
- 学校と地域との協働※を推進するため、地域の人材を発掘し、地域の協力体制を強化します。
- 地域との協働に向けて、子どもたちの豊かな育ちを確保するため、校長のリーダーシップを基にマネジメントを進めます。
- 子どもがさまざまな大人とふれあう中で、学ぶ意欲やたくましく生きる力が身に付くように、家庭や地域の教育力の向上を支援します。
- 学校と地域との連携・協働を円滑に進めるために、地域学校協働活動※の充実を図ります。

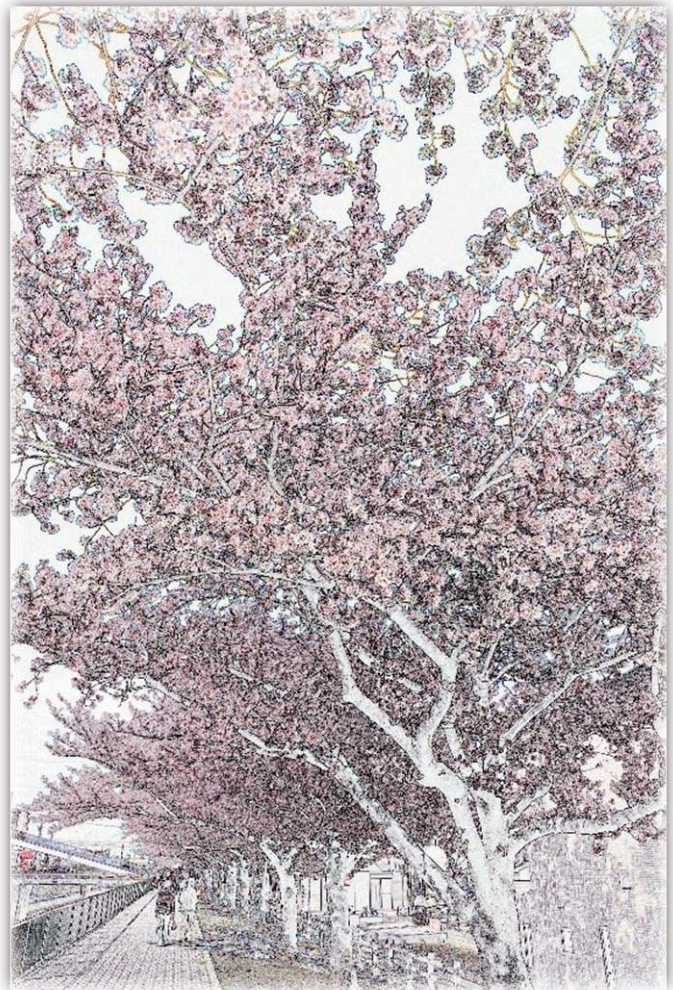
<主な取組>

- コミュニティスクール ○学校運営協議会 ○学校評価制度 ○地域学校協働本部 ○学校情報の公開

施策の進捗を多角的に測るもの

指標		現状値 (2016年度)	目標値	
			2022年度	2027年度
市民意識調査 指標	<現状や活動状況> 「小中学校の行事に参加したり協力している」市民の割合	27.6%	35%	40%
	<満足度> 「北名古屋市の子どもは健やかである」と思っている市民の割合	35.8%	40%	50%
取組指標	学校が楽しいと感じている児童・生徒の割合	88.1%	90%	95%
	保護者・地域住民による学校支援参加者数	1,510人	3,000人	7,000人

- ◆関連する計画
- 北名古屋市教育大綱
 - 北名古屋教育推進スキーム
 - 北名古屋市教育委員会基本方針



2-2

生涯学習

<施策の内容>

- ①学習機会の充実
- ②生涯学習の基盤整備
- ③読書活動の推進
- ④家庭教育力の向上

施策が目標とするまちの姿

全ての市民が、自主的な学習活動を活発に行い、生きがいや学習意欲を持ち続けています。
 家庭、地域、学校、行政などが連携し、青少年が健やかに成長できる環境を形成しています。

協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
<p>自主的に学習活動や社会活動に取り組みます。また、基本的な生活習慣や社会の基本ルールなどを身に付けさせる家庭教育を実施します。</p>	<p>地域や団体は、市民の学習の成果を地域に還元できる場をつくり、学習意欲を喚起します。 教育資源を有する大学や企業などは、学習機会の提供に協力します。また、青少年の見守り活動や交流活動など、地域で健やかに成長できる環境をつくります。</p>

現状と課題

- 生涯学習推進スキーム※を策定することで、生涯学習を推進する体制を整備してきたものの、今後も市民の学習ニーズの変化を把握し、必要に応じて見直しを行うなど、迅速かつ適切に新たな課題への対応を行っていく必要があります。
- 高齢者が生きがいを持って元気に生活を送ることができるよう、学習機会を充実するとともに、地域社会で活躍できる仕組みの構築が求められています。
- 社会教育分野にとどまらず、健康・福祉などの他分野との連携により、多様な学習機会の提供が求められています。
- 図書館の利用率は上昇し、来館者へのアンケート調査では高い満足度を得ているものの、登録者数は人口の約25%にとどまっており、新たなニーズを把握したサービス提供のあり方を検討する必要があります。
- 多様な学習活動の実施に必要な指導者の確保、育成を図る必要があります。

主要施策

①学習機会の充実

- 各世代の学習課題やニーズを的確に把握し、ライフステージ※に応じた学習プログラムの充実を図ります。
- 名古屋芸術大学や地元企業などとの連携により、高度化・多様化する学習ニーズに対応した講座を開設します。
- 講座の終了後のサークルづくりを支援するなど、自主的な学習グループの育成を図ります。
- 市民が必要とする学習関連情報の提供の充実を図ります。

<主な取組>

- 児童生徒英語力推進事業 ○放課後子ども教室 ○土曜学習 ○少年少女発明クラブ ○生涯学習講座
- 生涯学習大学公開講座 ○企業との連携 ○講座参加者アンケート調査 ○社会教育団体への活動助成

②生涯学習の基盤整備

- 老朽化が進んでいる施設の改修計画を検討し、持続的に利用できるよう計画的に改修を進めます。
- 使いやすく利便性の高い図書館をめざし、東・西図書館の機能の多様化及び強化を検討します。
- 名古屋芸術大学との協力により、図書館の相互利用を継続します。
- サービスの質の向上を図るために、市民や大学との連携による生涯学習施設の運営を検討します。

<主な取組>

- 施設の改修 ○名古屋芸術大学図書館との協定

③読書活動の推進

- 地域のボランティアなどと連携・協力し、子どもの読書活動の機会の充実を図ります。
- 児童館や学校図書館などと連携を図り、児童・青少年用図書などの整備に努めます。

<主な取組>

- 読み聞かせ ○子どもの読書活動

④家庭教育力の向上

- 家庭教育を見つめ直す機会を提供します。
- 親と子のふれあい実践活動を展開するなど、家庭教育の充実を図ります。

<主な取組>

- 保育園講演会 ○家庭教育推進講演会 ○いきいき子育て講座

施策の進捗を多角的に測るもの

指標		現状値 (2016年度)	目標値	
			2022年度	2027年度
市民意識調査	<現状や活動状況> 「自己に適した生涯学習の活動を行っている」市民の割合	17.1%	20%	25%
	<満足度> 「市内の図書館や公民館は利用しやすい」と思っている市民の割合	46.0%	48%	50%
指 取 標 組	図書館入館者数	461,796人	480,000人	500,000人
	生涯学習講座受講者充足率	94.6%	100%	100%

◆関連する計画

- 北名古屋市教育大綱
- 北名古屋生涯学習推進スキーム
- 北名古屋子ども読書活動推進スキーム
- 北名古屋市教育委員会基本方針

2-3

文化・芸術

<施策の内容>

- ①文化・芸術の推進
- ②歴史民俗資料館の充実・活用
- ③文化財の保存・活用

施策が目標とするまちの姿

日常生活の中で、文化・芸術活動に親しむ機会が多く、歴史や文化が薫るまちとなっています。

協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
文化・芸術の鑑賞や活動に関わりを持って、地域に根ざした文化・芸術活動を支えます。	主体的に文化・芸術関連事業やイベントを開催します。

現状と課題

- 多様な文化資源をネットワーク化し、個性豊かな文化・芸術活動へと発展させていくことが求められています。
- 名古屋芸術大学との連携により各種事業が展開され、まちづくりが進められてきたことから、更に大学の有する機能が地域で発揮される環境の整備が求められています。
- 歴史民俗資料館「昭和日常博物館」の活動は、市内外に知られ、回想法[※]に関する取組は全国からの注目を集めていますが、市の特徴ある施設として新たな事業展開が必要です。

主要施策

①文化・芸術の推進

- 市民の文化・芸術活動の発表機会を拡充し、市民の活動意欲を喚起します。
- 名古屋芸術大学との連携を強化し、芸術文化事業を推進します。
- 地域に根ざした文化・芸術活動を担う団体の育成と活動を支援します。

<主な取組>

- パペットフェスタ ○市民音楽祭 ○名古屋芸術大学連携事業

②歴史民俗資料館の充実・活用

- 常設展の充実を図るとともに、展示の魅力づくりを進めます。
- 収蔵品を活用し、高齢者施策との連携により回想法[※]事業を推進します。
- 小中学校及び名古屋芸術大学と連携して出前事業などを実施します。

<主な取組>

- 特別展・企画展 ○回想法ワークショップ ○出前事業

③文化財の保存・活用

- 国・県・市の指定文化財など、歴史ある文化資源を保存し、活用します。
- 文化財に対する市民の理解と地域に対する愛着を深めるために、啓発資料の作成や文化財を活用したイベントなどを開催します。
- 不足している無形民俗文化財[※]の継承者の育成を支援します。

<主な取組>

- 文化財マップ ○文化財・遺跡の見学会、ウォークラリー ○無形文化財保存会と小学校との連携

施策の進捗を多角的に測るもの

指標		現状値 (2016年度)	目標値	
			2022年度	2027年度
市民意識調査 指標	<現状や活動状況> 「文化・芸術活動に親しむ機会がある」市民の割合	26.7%	30%	35%
	<満足度> 「北名古屋市は文化的な都市である」と思っている市民の割合	19.0%	22%	25%
取組 指標	歴史民俗資料館入館者数	46,895人	50,000人	55,000人

◆関連する計画

- 北名古屋市教育大綱
- 北名古屋生涯学習推進スキーム
- 北名古屋市教育委員会基本方針

2-4

スポーツ・レクリエーション

<施策の内容>

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② 地域のスポーツ環境の整備
- ③ スポーツ団体等の支援

施策が目標とするまちの姿

市民一人ひとりが生涯にわたって自主的・主体的にスポーツやレクリエーション活動に親しみ、健康とふれあいの喜びを感じています。

協働の考え方

市民の役割	地域・団体・事業所等の役割
自身の能力・体力に応じたスポーツ活動に積極的に参加します。	地域で市民が気軽にスポーツに参加できる環境づくりに努めます。

現状と課題

- スポーツ基本法^{*}の理念の実現に向け、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージ^{*}や興味、関心などに応じて、自主的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりが求められています。
- 社会体育施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修が必要です。
- スポーツ団体の会員数が減少傾向にあり、市民総スポーツをめざし、魅力ある団体となるよう支援する必要があります。

主要施策

① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 地域全体で連携・協働[※]して、子どものスポーツ機会を拡充します。
- 年齢、性別を問わずスポーツ活動に参加できるような多様なスポーツ機会の充実を図ります。
- いつまでも健康でいられるよう気軽に楽しくできるスポーツ・レクリエーション[※]の普及を図ります。

<主な取組>

○スポーツ教室 ○市民体育祭 ○北なごやふるさとマラソン ○スポーツ競技全国大会等出場者への激励費の支給

② 地域のスポーツ環境の整備

- スポーツ推進委員及びスポーツ地域委員を確保するとともに、資質の向上を図るために研修の充実を図ります。
- 老朽化が進んでいる社会体育施設を持続的に利用できるよう、計画的に改修を進めます。
- 学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で広く市民に開放します。

<主な取組>

○スポーツ推進委員 ○スポーツ地域委員 ○社会体育施設改修 ○学校開放

③ スポーツ団体等の支援

- ふれあいスポーツクラブ[※]、体育協会、レクリエーション協会などの団体の活動を支援します。
- スポーツ団体の透明性の高い運営体制の整備を促進します。

<主な取組>

○スポーツ団体等への活動支援

施策の進捗を多角的に測るもの

指標		現状値 (2016年度)	目標値	
			2022年度	2027年度
市民意識調査	<現状や活動状況> 「日ごろから体を動かすことに取り組んでいる」市民の割合	48.4%	55%	65%
	<満足度> 「市内のスポーツ施設は利用しやすい」と思っている市民の割合	27.1%	32%	37%
取組指標	市内スポーツ施設利用者数	323,215人	339,000人	355,000人
	スポーツ団体会員数	4,620人	4,850人	5,100人

◆ 関連する計画

- 北名古屋市教育大綱
- 北名古屋市民スポーツ推進スキーム
- 北名古屋市教育委員会基本方針